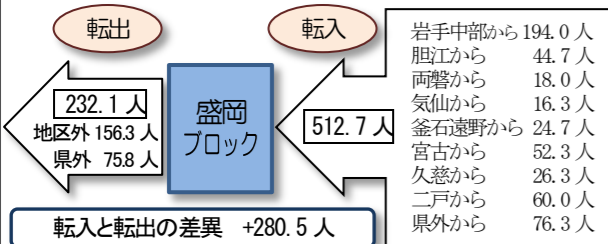


【策定趣旨】 地域における学校の役割を重視した魅力ある学校づくりに向けて、学校規模の大きさを生かした発展的な統合を行い、さらに先導的な取組ができる教育環境の整備を図るもの

1 現状

■ 入学者のブロック間交流の状況 (H30～R2 年度の平均)



※公立高校の全日制・定時制及び私立高校を対象（過年度卒を含む）
※四捨五入の関係で、計が一致しない場合がある

■ 盛岡市内の中学校卒業予定者数

	R2年3月	R3年3月	R4年3月	R5年3月	R6年3月	R7年3月
盛岡市内	2,626	2,421	2,681	2,508	2,541	2,512
盛岡ブロック	4,176	3,893	4,192	4,009	3,980	3,986

■ 盛岡市内の学校数の推移（県立高校全日制）

	H12	H17	H22	H27	R2
盛岡市内	7	7	7	7	7
全 県	84	77	64	63	62

■ 盛岡市内の平均学級数の推移（県立高校全日制）

	H12	H17	H22	H27	R2
	8.0	7.0	6.7	6.4	6.3

課題

- 中学校卒業予定者数は減少しているものの、県内全域から入学志願者が集まっていることから盛岡市内の県立高校の志願倍率は高い状況にあり、一極集中を緩和する必要がある。
- これまで、学級数調整により生徒数の減少への対応を図ってきたが、統合により、一定の学校規模を確保する必要がある。

地域検討会議における主な意見

- 盛岡地区への学校の集中や、他地域からの生徒の流入を是正する必要がある。
- 社会に必要な人材がイメージできる授業が理想的である。特色ある学びは存続して欲しい。
- 生徒数の減少による高校の小規模化への対応は盛岡市内も例外ではない。
- 盛岡市内も学級数調整ではなく、普通高校の統合を行うべきである。

統合新設校

本県の様々な分野の振興に資する人材の育成を果たす学校へ

2 学校統合の内容

盛岡南高校

定員 240 名
普通科 5 学級（うち体育コース 1 学級）
体育科 1 学級

体育、芸術等の特色ある教育
を实践する2校の発展的統合

- 多様な価値観に触れながら切磋琢磨
- スケールメリットを生かした、より一層の活性化

不来方高校

定員 280 名
普通科（総合選択制） 7 学級
5 学系（人文、理数、芸術、外国語、体育）

盛岡ブロックにおける特色ある学習活動等に取り組む大規模校の設置（令和7年度）

定員 320 人（8 学級）県内最大規模

- 学科等の編制については、普通科（総合選択制）を適用し、大学進学等に向けた文系、理系の学びの他、芸術、外国語、スポーツに関する多様な学びを確保
- 盛岡南高校の体育科の学びについては、体育学系を 2 学級とする、又は体育学系の他に体育科として維持することにより教育内容を充実



- 令和 4 年度から盛岡南高校（普通科）の募集を 1 学級ずつ減じ、令和 7 年度に統合
※ 統合年度から、現在の不来方高校校舎の使用を想定

学校名	R4	R5	R6	R7	R8	R9
盛岡南	17 学級 (5・6・6) 1 学級減	15 学級 (4・5・6) 1 学級減	12 学級 (3・4・5) 1 学級減	統合・新設	完成年度	
不来方	21 学級 (7・7・7)	21 学級 (7・7・7)	21 学級 (7・7・7)	29 学級 (8・10・11)	26 学級 (8・8・10)	24 学級 (8・8・8)

※ R5・R6 入学者
・両校の生徒とも、新設校の生徒となる（新設校の校舎で学ぶ）
・入学した学科・学系で卒業することとなる

- 現在の両校に設置している部活動については新たな学校に引継ぎ、部活動の選択肢が広がる他、さらに先導的な実践に取り組むことができる教育環境を整備

◆ R2 部活動の設置状況（丸数字は R1 県高校総合体育大会の順位を表す）

区分	部活動 学校名	部活動																																				
		硬式野球	弓道	剣道	柔道	サッカー	バレーボール	ハンドボール	ラグビー	水泳	スキー	ソフトテニス	卓球	硬式テニス	登山	バスケット	バドミントン	陸上	体操	ボクシング	ホッケー	カヌー	空手道	語学・国際	演劇	音楽	軽音楽	茶道	華道	写真	書道	吹奏楽	文芸・文学	美術・芸術	放送演劇	工芸		
男子	盛岡南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不来方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
女子	盛岡南			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不来方		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

統合・新設校の校名、校舎・施設設備、学科・学系の構成等に関する具体的な内容については、統合対象校の校長等、PTA 及び同窓会、並びに所在地の教育委員会及び地域の中学校の代表者等で構成される統合検討委員会を設置し、委員の皆さんの意見を伺いながら検討します。

3 岩手で活躍する人材の育成

県民誰もが文化芸術に親しみ創造できる、魅力あふれる岩手
（岩手県文化芸術振興指針の目標）

- 岩手の特徴を生かした文化芸術の振興と交流の推進
- 県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加、創造できる環境整備
- 日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信
- 障がい者による文化芸術活動の総合的推進

海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくり
（いわて県民計画におけるコミュニティ分野の目標）

- 外国人県民等が暮らしやすい環境づくり
- 海外との交流の促進
- ※ この他、仕事・収入分野において、戦略的県産農林水産物の輸出促進や外国人観光客への対応等、海外との経済交流の拡大にも取り組むこととしています。

スポーツの推進による、県民誰もが健やかで輝く岩手の創造
（岩手県スポーツ推進計画の目標）

- ライフステージに応じて楽しむ生涯スポーツの推進
- 共生社会型スポーツの推進
- 国際的に活躍する競技スポーツの推進
- 地域を活性化させるスポーツの推進